

国立国会図書館デジタルアーカイブポータルのサービス実施方針

この文書は、「国立国会図書館電子図書館中期計画 2004」（平成 16 年国図企協第 27 号）及び「平成 18 年度以降の電子図書館に係る計画の策定及び実施について」（平成 18 年国図企 060609001 号）により定めた国立国会図書館デジタルアーカイブポータルについて、そのサービス実施方針を定めるものである。

1. サービスの目的

国立国会図書館デジタルアーカイブポータルのサービスは、利用者が必要とする情報資源へ到達することを支援するためのサービスとして、当館のデジタルアーカイブや蔵書目録等のコンテンツを含め、国、公共機関、民間、個人が保有するデジタルアーカイブのコンテンツそのものへ、所在機関、コンテンツの形態を問わず、ワンストップで案内可能とすることを目的とする。

2. サービスの名称

「国立国会図書館デジタルアーカイブポータル」（通称:PORTA）（注1）とする。

3. 実施方針

- (1) PORTA で案内するコンテンツの拡充に当たっては、標準的な通信規約に基づく連携機能が装備されているデジタルアーカイブのコンテンツから順次対象を拡大する。また、これら連携機能を装備していないデジタルアーカイブ機関に対しては、その実装の普及に努める。
- (2) PORTA に関する業務運用に当たっては、可能な限り技術的な対応を図ることにより、極力人を介さない効率的運用を実現する。
- (3) PORTA のサービスレベルは、原則として 24 時間稼動とする。このため、障害の予兆検出・応急対応、障害時の縮退運転等の自動化機能を実装することにより、システム運用の効率化を図る。
- (4) PORTA で収集するメタデータについては、他のアーカイブ機関に対して原則公開とし、相互運用性を積極的に推進する。

4. PORTA の案内対象

PORTA の案内対象コンテンツは、次のとおりとする。

- (1) 当館が作成又は収集し、インターネット上で提供している一次情報、二次情報、参考情報等のコンテンツ。
- (2) 公的機関、学術研究機関、図書館等の文化機関が作成し、インターネット上で提供しているコンテンツ。特に、収集部が別途定める当館の電子情報の収集方針に基づく収集対象コンテンツであって、収集の許諾が得られないもの、収集の許諾は得られたがインターネット上での提供の許諾が得られないもの、又は提供元の各機関へ案内することが許諾条

件とされるものについては、提供元各機関の意向に留意して案内するものとする。

- (3) 図書館の蔵書のみならず書店・古書店などに在庫がある資料など、利用者にとってコンテンツそのものの入手方法が選択可能となるようなサービスには、有償無償を問わず、効果的に案内を行うことができるようにする。そのサービスの選定に当たっては、一定の基準を設けることにより、極力公平性を保つよう留意する。また、民間の博物館、美術館等のコンテンツとの連携も考慮する。
- (4) 利用者の需要に応えるために、PORTA で直接案内しない情報についても、民間の情報サービスを利用した案内又はリンクによる案内を行う。利用者の利用頻度の高い商用ポータル及び検索エンジン等を想定する。

5. 連携に係るシステム機能

(1) 当館各システム

当館の各データベースに関しては、システム改修の際に標準的な通信規約に基づく連携機能を実装する。PORTA 側で必要に応じた共通インターフェースの実装を支援する。

NDL-OPAC に関しては、運用停止時間短縮の要望が多いので、PORTA 側で仮のデータプロバイダを JAPAN/MARC (M, S) 及び雑誌記事索引について暫定的に構築して 24 時間運用することによって代替検索サービスの実現を図る。

(2) 当館以外の機関が提供するデジタルアーカイブ

- (ア) データを提供するデジタルアーカイブは、メタデータを提供するために国際的標準の通信規約として、OAI-PMH、SRW (SRU/SOAP)、RSS、Z39.50、Open Search (注 2) に対応していること。
- (イ) 連携対象拡大のため、メタデータの標準化と標準的な通信規約に基づく連携機能の実装について協力要請活動を実施する際は、PORTA のみでなく、インターネット情報の収集、Dnavi の事業との連携を考慮して取り扱う。
- (ウ) 優先する連携対象機関へは個別に働きかける。重要な対象コンテンツであり、かつ上記(ア)の対応を行っていない機関との連携方法は別途考慮する。収集・案内対象の各領域における組織とりまとめ団体が存在すれば、これを通じた協力要請活動を行う。

(3) PORTA の機械的連携機能

収集するメタデータはブラウザなど PORTA の検索窓等を通じて提供するほか、機械的連携機能（【参考 2】参照）を、以下の基準で提供する。

- (ア) 収集したメタデータの新着情報、更新情報を RSS で提供する。
- (イ) PORTA を横断検索する機能を非排他的に公開する。
- (ウ) PORTA が収集したメタデータの全件又は条件抽出の結果をハーベストさせる機能を提供する。その際には、そのデータ提供元の許諾条件に従う。

当館のメタデータについては、今後、作成したデータが積極的に活用されるよう、当館作成データベースの提供に係る方針を整備する。当面、「国立国会図書館作成データベースの提供について」（平成 12 年国図総第 45 号）に留意して個別に定める。

6. 実施体制

平成 19 年度のシステム機能強化及び保守並びに業務運用については電子情報企画室で実施し、サーバー及びネットワーク等のシステム機器は東京本館に設置する。

平成 20 年度に運用・開発体制を、業務及びシステムが密接に連携する関西館電子図書館課の所掌に移転し、整備する。また、同時にシステムもデジタルアーカイブシステムのシステム環境に移転する。

7. 今後の想定スケジュール（【参考 1】参照）

(1) 業務運用

- (ア) 案内対象の拡大（平成 19 年度以降）
- (イ) 本格運用体制への移行準備（平成 19 年度）
- (ウ) 本格運用体制による運用開始（平成 20 年度）

(2) システム基盤の整備

- (ア) 機能強化（平成 19 年度以降）
- (イ) 統合システム環境への移行準備（平成 19 年度）
- (ウ) 統合システム環境への移行作業（平成 20 年度）
- (エ) 統合システム環境での運用開始（平成 21 年度）

(注 1)

【PORTA】

ラテン語で「門、入り口」の意。単数形。「ポルタ」と読む。

(注 2)

【OAI-PMH】(Open Archives Initiative Protocol for Metadata Harvesting)

Web 上のメタデータを収集する通信規約。

【SRW(SRU/SOAP)】(Search/Retrieve Web Service)

情報検索のための通信規約である Z39.50 を改善して XML 仕様で情報内容を検索する通信規約。Web サービスによる横断検索の際に利用されている。最近では、SRW を SRU/SOAP(Search and Retrieve via URL/Simple Object Access Protocol)と表現をすることが多い。

【RSS】(RDF(Resource Description Framework) Site Summary)

ウェブ情報の見出しや要約などのメタデータを構造化して記述する XML 仕様の書式。主にウェブ情報の更新情報を公開するのに利用される。

【Open Search】

A9.com が提唱した横断検索の通信規約。URL 形式で条件を与えると結果を RSS 形式の XML 仕様で結果を返す。

【参考 1】実施スケジュール

		18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
業務関係	業務体制整備	方針策定	関西館への業務移行準備	体制整備 業務移行	(体制調整)
	協力要請	NII、JST、公文書館	個別機関、会議体への参加、会議体の設置		
	実施調整		JST、NII、国立公文書館 当館各データベース	e-GOV、地方公共団体、公共図書館	公益法人、電子書籍出版社、商用ポータル等
	広報	シンポジウム、セミナー、雑誌投稿等			
システム関係	アプリケーション開発	本格システム開発	機能強化、コンテンツ対象別の調整		
	アプリケーション運用	プロトタイプ運用保守	本格アプリケーション運用保守		
	システム環境整備運用 (H18 導入分)	構築	機器保守 稼働環境運用	機器保守 稼働環境運用	
	システム環境整備運用 (DA システム)		導入	整備	機器保守 稼働環境運用
	システム環境移行作業		システム移行準備	システム移行作業	統合システム環境での運用開始

【参考 2】PORTA の検索インターフェース

(1) 画面インターフェース

PORTA は個人利用者のためにウェブページ内での統合検索窓などを装備したグラフィカルユーザインターフェース (GUI) を提供する。利用者は、各種ブラウザの検索窓及び各種サービスが提供するツールバーでの検索窓等も利用可能である。

(2) 機械的インターフェース

PORTA では、他のシステムが機械的に利用可能なアプリケーションプログラミングインターフェース (API) を提供する。横断検索機能として、SRW (SRU/SOAP)、OpenURL*、Open Search 等、また、メタデータ提供機能として OAI-PMH を提供する。

* OpenURL：リンク元から URL 形式のメタデータを条件としてリンクサーバに送信するための記述仕様。リンクサーバは受け取ったメタデータをもとにユーザが利用できる適切なリンク先の情報へ画面遷移させる機能を持つ。